

平成26年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	42	学校名	静岡県立静岡東高等学校	校長名	平井はる美
------	----	-----	-------------	-----	-------

◎本年度の取組（重点目標はゴシック体で記入）

※1：理系高大連携推進委員会、 ※2：国際理解教育推進委員会 ※3：いじめ防止対策委員会、 ※4：運営委員会

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題	担当
ア	授業改善と 学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・教員による学期1回以上の授業参観率 100% ・生徒による授業評価向上率 70%以上 ・教員の先進校訪問人数 4人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業公開率 100%、年3回の授業参観率 62%で、達成できていない。 ・100%の職員が授業評価アンケートを実施し、授業改善に活かすことができた。 ・膳所高校・堀川高校・豊田西高校・岡崎高校の4校へ、計5人が訪問した。 	<ul style="list-style-type: none"> C A A 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の指導目標達成のために、授業公開と授業参観を通じた授業改善をさらに進める必要がある。研修課から各教科に呼びかけを行い、達成を目指す。 ・生徒による授業評価アンケートを、授業改善の参考とすることができた。今後も継続する。 ・先進校の情報を全職員で共有し、指導や施策の参考とした。来年度も授業改善・学力向上に向けて同様に実施する。 	研修
		<ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業実施日数 14日 ・土曜授業のフォロー 希望者の100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・14回の土曜授業を予定どおり実施した。 ・希望者へのフォローが100%実施できた。フォロータイム以外でもフォローを実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> A A 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜授業により、授業時数の確保や放課後の活用（部活動・補講等）が推進できた。来年度も14回の土曜授業を実施する。 ・フォローを希望する生徒は少なかったが、希望者に対してのフォローは確実に実施できた。来年度も、同じ形態でのフォロータイムを確保する。 	教務
		<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年家庭学習時間1日平均 2時間以上 ・職員会議での模試の分析回数 3回以上 ・1・2年11月進研模試偏差値平均 55以上 ・センター試験得点平均 全国平均+5%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年156.3分、2年130.7分で、学習時間1日平均2時間以上を達成できた。 ・模試分析を3回実施し、全職員で生徒の学力を把握・分析できた。 ・1年55.7、2年55.6（ともに英数国）で達成できた。 ・多くの科目で+5%を達成できた 	<ul style="list-style-type: none"> A A A B 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動と両立させながら、学習の習慣もほぼ定着させることができた。家庭学習の内容について、教科で改善を図り、科目の家庭学習量を学年で調整する。 ・来年度も継続し、弱点の補強方法など、目的を明確にして実施する。 ・各教科の弱点克服により、更に学力向上を目指す。 ・各教科で行ったセンター試験問題分析を授業改善に 	進路

			が、次の科目で達成できなかった。 (数ⅡB-2%、世B+4%、日B+3%、 地理+2%、政経+2%、物理+3%)		生かし、全ての科目で、全国平均+5%以上の目標 を目指す。	
イ	志の育成と 進路目標へ の挑戦	・面談週間回数 年5回以上	・面談週間を計画どおり5回実施した。	A	・担任の多忙化につながらないように、日課を工夫して、 時間を確保する。生徒理解や進路・生活指導を効果 的に行うために、来年度も担任による面談を実施す る。	教務
		・専門教養講座による単位取得生徒数 5人 以上	・前期3人、後期9人、計12人が単 位を修得し、目標を達成できた。	A	・大学の高度で専門的な学習への興味づけを図るため に、来年度も引き続き、専門教養講座による単位取 得を目指す生徒が増えるよう働きかける。	
		・国公立大学現役合格率 55%以上	・国公立大学現役合格者181人 (55.2%)で、達成できた。	A	・来年度は、学力上位層の学力伸長と進路への挑戦に 重点を置く。	進路
		・センター試験5教科受験率 70%以上	・80.7%の生徒が、5教科を受験した。	A	・国公立大学志望者の進路目標を達成させるために、 今後も5教科受験率が70%を超えるよう指導する。	
・キャリア講座生徒満足度 80%以上	・生徒アンケートの結果、95%の生徒 が「役に立った」と回答した。	A	・職業観の育成をする貴重な機会となるので、来年度 も継続する。			
・外部人材の活用人数 15人以上	・外部人材16名を活用した。	A	・本校教育力の向上や教員の多忙化解消のために、来 年度も進路指導や部活動において、効果的に外部人 材を活用する。			
		・キャリア講演会生徒満足度 80%以上	・生徒アンケートの結果、満足度は 80%に届かなかったが、46名が参 加した東大訪問への動機づけとな った。	B	・来年度も生徒の高い志を育成できるテーマと講師を 選定し、講演会を企画する。	
		・東京大学訪問生徒数 40人程度	・2年生46名が参加した。	A	・高い進路目標に挑戦する意欲を育てるために、来年 度も継続して実施する。	
		・1・2年ハイレベル模試受験者数 30人以上	・1年は41名、2年47名が受験した。	A	・高い進路目標を持つ生徒が増えるよう指導する。	
		・進路検討会を経た面談回数 2回以上	・3年生に対し進路検討会後の面談を 2回実施した。	A	・面談による志望校決定の効果を高めるために、面談 用資料の工夫を行う。	
		・受験産業による講話回数 学年各1回以上	・1・2年の生徒に対し受験産業によ る講話を各1回行った。	B	・来年度は1・2年生のみの目標とし、大学入試の心 構えや知識を得る機会とする。	
		・図書館の貸出本冊数 1,800冊以上	・12月末での貸出本冊数は2,667冊 となった。	A	・クラス貸出(学級文庫)の効果もあり、昨年度(1,950 冊)より大幅に増えた。今後も魅力的な選書を行う。	図書

		・静大理学部での実習体験参加者数 20人以上	・SPPと「はごろも助成賞」に応募したが、ともに選外となり、静大理学部が主催する実習体験に、若干名が参加しただけだった。	C	・来年度は引き続き実習体験を伴う連携を計画するが、実習費のあまりかからない形での静大理学部・農学部との連携も検討する。	※1
ウ	教育活動とおした能力や特性の育成	・遅刻生徒数1日平均 7人以下	・1日平均 4.98人の遅刻生徒数であった。	A	・1年の前半は昨年より増加したが、後半が減って目標が達成できた。時間的に余裕を持った登校の仕方や朝学習の習慣を、身につけさせる必要がある。	教務
		・生徒部活動加入率 100%	・部活動加入時点では加入率は100%であったが、その後3年生で2名の退部者が出た。	B	・来年度も心身のバランス良い成長を目指して、1・2年生は全員がいずれかの部活動に加入するよう指導する。	生徒
		・運動部活動県大会出場率 100%	・女子バレー部と登山部以外の運動部で達成し、90%の出場率となった。	B	・運動部活動指導の工夫・改善事業への参入により、外部指導者からの支援を強化して、目標の達成を目指す。	
		・週1日以上部活動休業実施率 100%	・すべての部活動で週1日以上休業を実施した。	A	・引き続き学習と部活動の両立を目指し、すべての部活動で、週1日以上休業を実施する。	
		・東海大会以上への出場部活動数 4部活以上	・東海大会以上の大会へ7部活が進出した。	A	・すべての部活動が、より上位の大会出場を目標に、集中して活動できるようにする。	
		・文化教室生徒満足度 70%以上	・アンケートで「良い」と答えた生徒は832名(88.6%)で目標を達成した。	A	・人気ジャズ奏者の演奏であったが、演目により満足度も大きく変化するので、来年度も魅力的な演目を企画する。	図書
		・台湾への修学旅行参加予定者 40人程度	・台湾への修学旅行参加希望者が176名となり、目標を大きく上回った。	A	・4月の台湾生徒との交流などをおし、国際理解への関心が高まった。	1学年
・生徒英語研修の参加者計 40人以上	・アメリカンサマーキャンプ参加者22名、ブリティッシュヒルズ参加者16名、計38名の参加者で目標を少し下回った。	B	・アメリカンサマーキャンプとブリティッシュヒルズ英語研修は、異文化理解や語学学習への動機づけにおいて成果があり、生徒の満足度は100%となった。来年度からは、交互に実施する。	※2		
エ	命を守る教育の推進	・防災訓練実施回数 3回以上	・防災訓練を3回実施した。	A	・迅速な避難と避難経路の確認ができ、抜き打ちでも実施できた。来年度は1年生に防災実地訓練を行う。	総務

		<ul style="list-style-type: none"> ・重大な生徒交通事故件数 0件 ・組織的な街頭指導回数 3回以上 ・心の教育学級懇談会学級実施率 100% 	<ul style="list-style-type: none"> ・重大事故は0件であったが、軽度な事故が11件発生した。 ・PTA、職員、生徒交通委員による街頭指導を、年間3回実施した。 ・心の教育学級懇談を、全クラスで実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車通学者が9割以上であるため、様々な角度からの安全教育が必要である。生徒の心に訴える地道な指導を継続する。 	生徒総務
		<ul style="list-style-type: none"> ・教育相談での問題改善率 90%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の解決は困難な場合があったが、相談室利用者のほとんどが教室に復帰することができた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車事故の予防と交通マナーの向上を目ざして、来年度も引き続き、街頭交通指導を実施する。 ・今年はPTA総会後に実施した。保護者が参加しやすくなり、時期的に特に問題はなかった。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・生徒検診治療率 100% ・ウイルス性疾患による学級閉鎖件数 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒検診治療率は内科・眼科・耳鼻科が100%、歯科が50%であった。 ・ウイルス性疾患による学級閉鎖件数0件を達成した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科の受診率向上のため、勧告を頻繁に行い、保健便り等で健康への意識を高めたい。 	保健
		<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス性疾患に関する学級閉鎖件数 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス性疾患に関する学級閉鎖件数0件を達成した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・ウイルス疾患に関しては、流行についての情報提供や、うがい・手洗い等の予防行動を呼びかける。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・体罰・いじめの発生件数 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・体罰、いじめともに1件も認められなかった。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も体罰・いじめの予防、早期対応に向けて、生徒集会や職員研修で啓蒙していく。 	※3
才	広報活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の学校公開回数 9回 ・公開授業の参加者数計 1,200人以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜日の学校公開を9回実施した。 ・公開授業の参加者数 計1,713人 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・土曜公開授業が、中学生やその保護者に本校の魅力を伝える機会として定着した。来年度も継続する。 	※4
		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問中学校数 25校以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月～7月にかけて運営委員で分担して、延28校を訪問し、本校の概要等を説明した。また、11月にも校長が市内36校を訪問した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員の協力の下、中学校を訪問し、東高の魅力を発信することができた。本校を志願する生徒を確保するうえで、来年度も継続していく必要がある。 	
		<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事掲載回数 10回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞記事掲載回数36回で目標を達成した。(一般紙30回 スポーツ紙6回) 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・7回取材依頼をしたが、実際に記者による取材は3回となった。それ以外で学校に関わる関係記事は33回あった。来年度は取材依頼の仕方を工夫する。 	総務
		<ul style="list-style-type: none"> ・HP更新回数 週5回以上 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日更新し、目標を達成した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・1年間で約17万件のHPへのアクセスがあり、本校教育の発信が計画的に行われた。記事の内容に偏りがあるので、部活動や分掌・学年にも記事の掲載を依頼する。 	情報管理
		<ul style="list-style-type: none"> ・事務室窓口へのクレーム件数 0件 	<ul style="list-style-type: none"> ・クレーム件数0件で目標を達成した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・明るく丁寧な窓口業務を心掛け、本校のイメージアップにつなげることができた。今後も来校者の受付、電話の取り次ぎを丁寧に行う。 	事務室